



## Chapter 1 入試

聖学院大学にはAO入試、推薦入試、一般入試の主に3つの異なった方式の入試があります。それぞれ受験生の持つ可能性を違う側面から見ていく入試で、それが学生の資質を伸ばしていくという聖学院大学の教育の特徴を表すものとなっています。

聖学院大学では18年前(1999年)からどのような学生に入ってほしいかを示したアドミッション・ポリシーを学部・学科ごとに明確に示しています。それぞれの特色を理解して自分にあった学部・学科そして入試方式を見つけ出していくことから大学への一歩が始まります。

# 聖学院大学の教育方針(ポリシー)

聖学院大学は、開学の当初より「聖学院大学の理念10カ条<sup>※</sup>」(以下「理念」という)を擁し、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく人格教育を行ってきている。それは、神によって創造されたかけがえのない存在である学生を愛し、その魂の健全な成長を配慮しつつ、リベラルアーツを基盤とする専門教育をとおり各人の個性を引き出すことである。それは、コミュニケーション力や判断力などの業務遂行能力を高め、現代の市民社会の各分野でその担い手として貢献できる人物の育成にほかならない。

現在各大学は日本社会から「大学教育の質保証」を問われているが、本学はこの理念に基づく教育方針の貫徹をもってその応えとしたい。具体的には、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションに分けて以下のとおり「聖学院大学の教育方針」を宣言する。また各学部・学科・研究科ごとの固有の方針も掲げる。

※P.3参照

## ディプロマ・ポリシー

聖学院大学は、「理念」に即した精神性と価値観および総合的判断力を備え、かつ幅広い教養と専門的知識を身につけることにより、自由と人権を重んじ、隣人愛と使命感をもって人類の平和と福祉の実現のために社会の各分野で貢献できる人およびさらに大学院での専門研究へ発展させることのできる人の育成を目指し、指定の卒業履修単位を獲得した学生にそれぞれのディプロマを授与する。

- ①学問の基礎を修得し、主体的な学びをすすめてゆく能力。
- ②専攻する分野の知識と共に、グローバル及び複眼的に理解する能力。
- ③地域社会の一員として必要な、他者を理解し協働して行動する能力。
- ④自らの考えを発信し、他者の考えを理解するための基本的な文章の読解と記述能力、コミュニケーション能力。

## カリキュラム・ポリシー

聖学院大学は、上記ディプロマを授与されるにふさわしい学生の育成のため、礼拝と授業と大学行事をとおり行われるキリスト教人格教育を中心としながら、一方では各学部学科の特性にあった基礎知識の充実と教養教育を深め、同時に各学部学科の専門教育を行う。

キリスト教人格教育とは、何よりも神によって創造されたかけがえのない存在である学生一人ひとりを愛し、その人格を重んじ、その魂の健全な成長を配慮しつつ、聖学院教育憲章に謳われている「Only one for others」の精神をもって、人間一人ひとりの自由と人権を守り育成する教育である。そのために、少人数教育を重んじ、人と人との人格的な触れ合いを大事にしていく。

またこの人格教育を中心にして、基礎教育の充実とともに幅広い教養を身につけるためのリベラルアーツ教育を行っていく。これは、学生一人ひとりが、自分の置かれた状況を的確に判断し、自分にとっても他者にとってもより良い生き方ができる道を模索し、選び取り、行動できる、そうした主体性を確立する教育である。そして、こうした土台の上に、各学部・学科の専門教育が行われ、そのためのカリキュラム体系が形成される。

## アドミッション・ポリシー

聖学院大学は、上記カリキュラムに即した教育を受けるにふさわしい学生を選抜、あるいは見出すため、「理念」に共感し、神から与えられた固有の賜物を人間形成的に、学問的に本学で開花させたいと願う志望者を種々の選抜方法により、受け入れ、あるいは見出しに行く。

2010年9月22日制定/2017年3月8日改定

## 基礎総合教育部のカリキュラム・ポリシー

3学部に通じた大学教育のための基礎あるいは教養を身につけるために、以下のとおり基礎総合教育課程を設ける。

① 基礎教育	初年次におかれた語学、書き方、話し方、情報基礎、身体知その他に関わる学習をとおり、表現、伝達などのコミュニケーション能力を高め、大学教育の基礎となる思考方法や知的技術力をつける。 また、キリスト教概論および多彩なキリスト教関連科目により、本学の基盤であるキリスト教に基づいた人間性(人生観、生き方)および世界(社会)の有り様を理解するとともに、多様な関連分野に触れることにより豊かな情操を身につける。
② 教養教育	初年次に、各学科の基礎的学問からなる教養科目をバランスよく学び、専門にとらわれない柔軟な思考を身につけるとともに、他学科の授業を受講する際の基礎を学ぶ。 また、4年次科目として設置された総合科目により、大学院レベルの内容を持った講義で学問の奥深さを知るとともに、大学院進学希望者に対し大学院授業への準備とする。
③ キャリア教育	初年次に、社会人として必要な基礎的知識を高める。2年次には、自分、社会、仕事を知ることにより基礎的態度やキャリアプランニング能力などを身につける。3年次には、社会、仕事をより深く学ぶことにより、就業力を身につける。国の内外でのインターンシップ等も経験し、総じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく能力を習得する。

2010年9月22日制定/2014年2月19日追記/2015年11月11日改定

## 各学科のポリシー

聖学院大学の教育方針(ポリシー)は各学部・学科にも、それぞれ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーと3つあります。受験の際にはアドミッション・ポリシーはよく読んで参考にしてください。学部のポリシーは、聖学院大学のホームページに掲載しています。

政治経済学部	政治経済学科	<b>ディプロマ・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 政治経済を中心に、社会科学全般にわたる幅広い専門知識を身につけ、社会の多様な問題を総合的・多面的に分析できる能力を有する人を育てる。</li> <li>② ビジネスの諸問題の解釈に向けて積極的に取り組むために、経済学や経営学の専門知識を備えた人を育てる。</li> <li>③ グローバリゼーションに対応しうる現実的な世界的視野のもとで、平和構築に向けて世界情勢を的確に把握する力を有する人を育てる。</li> <li>④ 良き市民として、また公務員となって、地域社会で活躍し貢献するために、地域社会および地域経済に関する知識を備えた人を育てる。</li> <li>⑤ 情報社会に対応できる知識を身につけ、それらを市民活動や実務などで活用する能力を有する人を育てる。</li> <li>⑥ 以上のような目途に即した学業をなし、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士号(政治経済学)を授与する。</li> </ul>
		<b>カリキュラム・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 複雑多様なグローバル社会に対応しうる問題解決力を養い、体系的・主体的な学びを支援する。</li> <li>② 知の基礎力向上をめざすとともに、多面的な思考能力を養うため、1)政治経済、2)経営コミュニケーション、3)まちづくりの3コースおよび公務員試験対策プログラムを設置する。</li> <li>③ 自己表現力、傾聴力、他者との関係を取り結ぶ力など社会人に求められる就業力等を育成する為、1年次から3年次までの必修の演習科目等を通じて、少人数の参加型授業を実施する。</li> <li>④ 地域の運営や経済にかかわる実学的な知識と能力を養うため、フィールドワークを組み込んだ体験的学習を重視する。</li> </ul>
		<b>アドミッション・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会のさまざまな舞台で通用する幅広い教養を身につけ、積極的に社会的な役割を担い、貢献したい人を求める。</li> <li>② 社会の第一線で役立つ判断力・行動力を身につけ、企業・公務員・教員・進学など、将来の自分の可能性を見つけたい人を求める。</li> <li>③ 地域社会など多様なコミュニティの問題に関心・興味があり、公務、経済活動、地域活動を通して地域社会の活性化に関わりたい人を求める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">2017年3月8日制定</p>
人文学部	欧米文化学科	<b>ディプロマ・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国際人として世界を舞台に活躍するための、責任ある主体性やコミュニケーション力を習得する。</li> <li>② グローバル世界に大きな影響力を持つ欧米文化についての知識や、それを源流とする思考法を身につける。</li> <li>③ 現代国際社会の複雑な多文化状況を読み解き、文化的問題の解決に貢献するための文化的批判力を習得する。</li> <li>④ こうした育成目途に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士(欧米文化学)の学位を授与する。</li> </ul>
		<b>カリキュラム・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① グローバル世界で活躍するための主体性や実動的な働く力を養い、さらには自ら国際人育成に貢献するための教育力を育てる。</li> <li>② 文化現象や文化的作品を読解する批判力を育てる。また言語を通して異文化や社会と関わるコミュニケーション力を訓育する。</li> <li>③ 現在のグローバル情勢への知識や洞察力を深めるとともに、異文化への共生的態度を涵養する。</li> <li>④ 少人数制初年次教育で、オリジナルテキストを用い、学びに必要な基礎力の徹底的訓練を行い、これに続く演習科目により論文作成、プレゼンテーションやディスカッションの能力を育てる。</li> </ul>
		<b>アドミッション・ポリシー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ヨーロッパやアメリカの文化に接することで、自分の視野や考え方、生き方、行動力を広げたい人を求める。さらに実社会で必要になる理解力、考察力、文章表現力、コミュニケーション力を伸ばして、国内外で活躍したい人を歓迎する。</li> <li>② 海外留学をしたい人、将来海外で活躍したい人、英語を用いて働きたい人、英語が好きな人や伸ばしたい人、欧米の諸言語を学びたい人など、外国語でのコミュニケーションを活躍の力にしたい人を求める。</li> <li>③ 文学・歴史・映画・思想など、様々な文化のジャンルのある分野に関心を持ち、文化を理解する力や新たな文化を創造する力を伸ばしたい人を求める。</li> </ul>

2010年9月22日制定/2015年11月11日改定

人文学部	日本文化学科	<p><b>ディプロマ・ポリシー</b></p> <p>① 日本の社会や文化の課題に、世界の中での日本を見つめるグローバルな視点から取り組むことができる人として活躍できるための、人文学の幅広くかつ深い学識を習得する。</p> <p>② 歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重する専門的な知識にたつて、さまざまな持ち場で活躍できる市民としてのあり方を身につける。</p> <p>③ 文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、積極的な自己実現の意欲と、同時に他者を尊重する態度を涵養する。</p> <p>④ こうした育成目的に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士(日本文化学)の学位を授与する。</p>
		<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p> <p>① 歴史学、文学、語学、哲学等の人文学をふまえた専門的知識と倫理観をもって、社会と文化の諸課題に意欲的に取り組む能力を育てる。</p> <p>② 常に、グローバル化する世界、また特に東アジアの近隣関係における異文化と多面的な価値観をふまえつつ、日本の歴史・文化の深い知識を自らのものとする。</p> <p>③ 文章理解力・文章作成力・会話力を伸ばし、言語能力を高めることで、的確な自己表現力とコミュニケーション能力とを育てる。</p> <p>④ その他(さらなる目標として)</p> <p>i) 知識取得だけでなく、研修科目や体験科目を用意し、実体験の中で文化に接し、身体知としての文化の習得に努める。</p> <p>ii) 学校教育に関わる専門的知識を養い、教育水準の向上と課題解決能力を身につける。</p> <p>iii) 文化的発信・異文化との交流をめざして、日本文化の幅広い学識の上に立って日本語教育にたずさわることのできる能力を身につける。</p>
		<p><b>アドミッション・ポリシー</b></p> <p>① 知的好奇心にあふれ、柔軟な感性をもって、学習や文化的活動に自主的意欲的に取り組むことのできる人を歓迎する。</p> <p>② 日本の歴史・文学・思想・文化のさまざまな領域について、高校までの学習の上に、さらに幅広く、かつ、深く学びたいと願っている人を求める。</p> <p>③ 日本の文化を多面的に学ぶことで、世界のグローバル化の中で、自己を知り、他者を知る態度を、正しく身につけることに関心のある人を受け入れる。</p>
人間福祉学部	児童学科	<p><b>ディプロマ・ポリシー</b></p> <p>① 「人間学を基底においた児童学」を通じて培った他者理解の方法論や感受性を基にして、言葉・人間関係・子どもの文化に関する素養を身につけた人を育てる。</p> <p>② 発達理論や心理学の知識を土台にして子どもの「言葉にならない思い」を汲み、保育技術と対人援助技術を身につけてその思いに寄り添える実践者を育てる。</p> <p>③ 資格取得を求める学生に対しては、責任感と倫理観を備えた子どもを育てる専門人として、子どもとその家族の良きパートナーになり、子どもが生きやすい環境づくりと社会全体の福祉に貢献できる小学校教諭、幼稚園教諭、保育士となるよう育成を図る。</p> <p>④ 異文化を背景とした「子どもの育ち」を応援できる、グローバル化に対応した専門職を育てる。</p> <p>⑤ こうした育成目的に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士(児童学)の学位を授与する。</p>
		<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p> <p>① 人間学を基底におき児童学の立場からの学びを深めるため、卒業必修科目である「児童学概論」を初年次に設置する。</p> <p>② 建学の精神に沿った学生一人ひとりの育ちを確実なものにするために、すべての学生を対象に少人数のゼミを設置し、担当教員の継続的な見守りの中で、課題探求力・問題解決力・表現力・コミュニケーション力・記述力を育てる演習を行う。</p> <p>③ 保育実習、教育実習に必要な基礎力を養成する。また学科で可能な資格取得のための実習の前提として、基礎実習を設置する。</p> <p>④ その他</p> <p>i) 異文化を背景とした子どもの育ちや子育てを支える実践力を養成するために、異文化理解や実践的英語力を身につける科目を設置する。</p> <p>ii) 子どもに関わる専門職としての倫理観を育てる(初年次に教師論を設置等)。</p> <p>iii) 実践者としての力を育てるために、すべての実習科目の事前事後学習には個別指導を取り入れ、きめ細かく実施する。</p> <p>iv) 子どもの表現にこめられた「こころもち」を汲み取る力を育てるために、実技科目や表現理論と実践を学ぶ機会を充実させる。</p> <p>v) 子どもに関わる感受性を磨くために、アセンブリアワーをとおして子どもの専門家の話を直接聴く機会を設ける。</p>
		<p><b>アドミッション・ポリシー</b></p> <p>① 子どもの人格に真向かい、個々の状況に共感して細やかに理解し、それぞれの発達に応じた関わりや教育的配慮をしつつ、原点から人間を知ろうと努力する学生を求める。</p> <p>② 日頃から身のまわりのことに関心をもって、物や人との関わりあいを大切に、仲間と協同して活動し、より良い人間関係を築こうという意欲をもち、教育や保育に携わることを希望する学生を求める。</p> <p>③ 他者の立場に立って自身の考えや行動を組み立て、他者に伝えるようにそれを表わそうとし、自己の主張にとらわれず、他者の声に耳を傾けて自らの人格に磨きをかけることをもなう学生を求める。</p>

こども心理 学科	<p><b>ディプロマ・ポリシー</b></p> <p>① 人格・人権を十分に尊重することのできるゆるぎない価値観と深い人間理解の基盤を形成し、各々、その価値観に基づいて社会貢献が出来る人を育てる。</p> <p>② 人間が生きる社会や文化、生活などの環境を理解し、特に人生を歩みの初期にあるこどもたちを支え、人間的にともに育っていく人材を育てる。</p> <p>③ こども期にある人々にケア・サポートを提供する実践者を育てる。</p> <p>④ こうした目途に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士(心理・健康保健学)の学位を授与する。</p>
	<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p> <p>① 人間学や倫理学など、人格と人権を尊重するための知識を獲得するだけでなく、社会での実践体験を通して、スピリチュアルな世界に目を啓き、人格と人権を尊重するゆるぎない価値観を持って社会貢献ができることを学ぶ。</p> <p>② 主に心理学系科目を主体とした学びを深める。1)人が備えている人としての特性や特徴を学ぶ。2) 個体発生から青年期に至る時期までを「こども期」と捉え、発達によって生じる「こども期」のさまざまな心理と心理的危機を学ぶ。3) 心理学的支援の方法を学ぶ。こうした学びにより、希望者に応じて認定心理士の資格取得を可能にする。(さらに将来的に公認心理師への道を開く)</p> <p>③ 「こども期」のこどもの健康を保持・増進するための基本的知識と技能を身につける。</p> <p>④ 「こども期」の発達に影響する環境や文化についての知識を学び、こども期の学習と発達を支援する技能を身につける。</p>
	<p><b>アドミッション・ポリシー</b></p> <p>① 喜びや怒り、苦しみや悲しみなど、その時々で変化するこどもの「こころ」に共感しながら、なぜそのような「こころ」が生じるのかについて強い関心と興味を抱く学生を求める。</p> <p>② 人と社会との関わりに関心があり、「こども期」にある人と自分、友だちと自分、大人と自分、多様な人々と関わるのが楽しいと感じる。そして、今よりさらに良い人間関係を築くことに意欲が持てる学生を求める。</p> <p>③ こどもが置かれている状況は、常に変化し続けている。生活環境や時代の変化、アジアとヨーロッパなどの文化の違い、経済状況の変化などが、こどもの人格形成にどんな影響を及ぼすのかなどを考えることに深く興味を抱くことができる。その上で、具体的に生じているこどもを巡る出来事への対応に力をつくしたいと願う学生を求める。 2011年8月26日追記/2017年3月8日改定</p>
人間福祉 学科	<p><b>ディプロマ・ポリシー</b></p> <p>① 社会福祉学と心理学を中心に「人と社会」に関する広範な知識を修得し、「人と社会」に関係するテーマで卒業研究を終了した者に学士(人間福祉学)の学位を与える。</p> <p>② 「人と社会」に関する広範な知識の修得と卒業研究に加えて、演習・実習を通して社会福祉援助技術を修得した者には、学士(人間福祉学)の学位に加えて社会福祉士の国家試験受験資格を与える。</p> <p>③ 「人と社会」に関する広範な知識の修得と卒業研究に加えて、演習・実習を通して精神保健福祉援助技術を修得した者には、学士(人間福祉学)の学位に加えて精神保健福祉士の国家試験受験資格を与える。</p> <p>④ 「人と社会」に関する広範な知識の修得と卒業研究に加えて、演習・実習を通して心理学研究法を修得した者には、学士(人間福祉学)の学位に加えて認定心理士の資格を与える。</p>
	<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p> <p>① 「人と社会関連科目」「心理関連科目」「福祉関連科目」から成る「人間社会科目」群を置き、諸講義科目の配置により、個々の学生の関心に合わせた「人と社会」に関する広範な知識を修得させる。</p> <p>② 社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格取得をめざす学生のために「国家資格演習・実習科目」を置き、演習および実習を通して社会福祉援助技術・精神保健福祉援助技術を修得させる。</p> <p>③ 専門演習および卒業研究からなる「演習科目」を置き、能動的な学習の機会を与えて、講義科目を通して修得した専門知識の深化をはかる。</p>
	<p><b>アドミッション・ポリシー</b></p> <p>① 広く人と社会について考え、体験し、その中で自分の進路を探そうとする者を求める。</p> <p>② 子どもから高齢者まで、健康な人も健康問題を抱える人も、ともに生きる福祉社会の実現を目指して、社会のさまざまな場面で「人の役に立つ」人になりたいと希望している者を求める。</p> <p>③ 社会福祉の知識と援助技術を修得して社会福祉士の資格を取得し、有資格のソーシャルワーカーになることを希望する者を求める。</p> <p>④ 精神保健福祉の知識と援助技術を修得して精神保健福祉士の資格を取得し、有資格のソーシャルワーカーになることを希望する者を求める。</p> <p>⑤ 心理学の知識を修得して認定心理士の資格を取得し、心理専門職になることを希望する者を求める。</p>

2010年9月22日制定/2015年11月11日改定



# 2017年度入試結果

## 全入試結果 ※特別入試(社会人・帰国生・留学生)・秋学期入試を含み、再入学・編入学は含まれておりません。

学部	学科	募集定員	入試結果			合格者内訳			倍率 受験者/合格者	入学者	
			志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	160	388	367	286	132	154	83	1.3	202	65
人文	欧米文化	80	104	96	91	58	33	45	1.1	51	28
	日本文化	80	161	153	143	111	32	41	1.1	79	26
人間福祉	児童	100	101	97	90	87	3	44	1.1	56	32
	こども心理	80	75	72	66	58	8	41	1.1	42	24
	人間福祉	80	113	107	98	81	17	31	1.1	62	17
合計		580	942	892	774	527	247	285	1.2	492	192

## AO入試[レポート型][講義型][英語特別]結果 (審査日 [講義型][英語特別] ①2016年8月27日 ②10月1日 ③11月12日 ④12月17日 ⑤2017年1月21日 [レポート型] ⑥2月28日 [英語特別] ⑥3月14日)

学部	学科	募集定員	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	37	-	34	30	30	0	3	1.2	29	3
人文	欧米文化	30	11	-	11	11	11	0	5	1.0	10	5
	日本文化	30	25	-	25	22	21	1	10	1.1	22	10
人間福祉	児童	40	39	-	39	33	33	0	18	1.2	33	18
	こども心理	30	19	-	19	18	17	1	8	1.1	18	8
	人間福祉	30	33	-	32	28	27	1	6	1.2	28	6
合計		210	164	-	160	142	139	3	50	1.2	140	50

※児童学科は(レポート型)の募集はなし。 ※児童学科は(英語特別)の募集はなし。

## 推薦入試結果 (公募推薦・審査日 ①2016年11月12日 ②12月17日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	23	23	23	2	1.0	22	2
人文	欧米文化	25	9	9	9	5	1.0	9	5
	日本文化	25	28	28	28	9	1.0	28	9
人間福祉	児童	30	16	15	15	12	1.0	15	12
	こども心理	25	15	15	15	11	1.0	15	11
	人間福祉	25	17	17	17	5	1.0	17	5
合計		185	108	107	107	44	1.0	106	44

## スポーツ推薦入試結果 (スポーツ推薦・審査日 ①2016年9月17日 ②12月17日 ③2017年1月14日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	5	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	人間福祉	5	1	1	1	1	0	1	1.0	1	1
合計		25	3	3	3	3	0	2	1.0	3	2

※児童学科は(スポーツ推薦)の募集はなし。

一般入試A日程結果 (試験日 2017年1月24日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	63	61	55	49	6	11	1.1	9	3
人文	欧米文化	20	27	25	23	21	2	7	1.1	5	1
	日本文化	20	54	52	51	46	5	13	1.0	6	1
人間福祉	児童	30	31	31	30	30	0	12	1.0	4	0
	こども心理	20	25	24	24	24	0	17	1.0	3	2
	人間福祉	20	31	30	28	27	1	13	1.1	1	1
合計		160	231	223	211	197	14	73	1.1	28	8

一般入試B日程結果 (試験日 2017年2月9日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	10	7	5	4	1	1	1.4	2	0
人文	欧米文化	20	8	6	6	3	3	3	1.0	2	0
	日本文化	20	5	5	5	5	0	1	1.0	2	0
人間福祉	児童	30	4	3	3	3	0	0	1.0	1	0
	こども心理	20	1	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	人間福祉	20	6	5	4	2	2	0	1.3	1	0
合計		160	34	26	23	17	6	5	1.1	8	0

一般入試C日程結果 (試験日 2017年2月28日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	14	11	10	9	1	2	1.1	3	1
人文	欧米文化	20	8	7	7	7	0	6	1.0	2	2
	日本文化	20	8	5	5	4	1	0	1.0	0	0
人間福祉	児童	30	7	6	6	6	0	1	1.0	2	1
	こども心理	20	2	2	2	1	1	1	1.0	1	0
	人間福祉	20	5	4	4	3	1	1	1.0	1	0
合計		160	44	35	34	30	4	11	1.1	9	4

一般入試D日程結果 (試験日 2017年3月14日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	22	18	17	9	8	4	1.1	7	1
人文	欧米文化	20	13	11	11	5	6	2	1.0	2	0
	日本文化	20	13	11	11	7	4	2	1.0	4	0
人間福祉	児童	30	3	2	2	0	2	0	1.0	0	0
	こども心理	20	2	1	1	1	0	0	1.0	0	0
	人間福祉	20	3	3	3	3	0	0	1.0	1	0
合計		160	56	46	45	25	20	8	1.0	14	1

一般入試E日程結果 (試験日 2017年3月23日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	9	8	8	5	3	2	1.0	7	2
人文	欧米文化	20	1	1	1	1	0	0	1.0	1	0
	日本文化	20	1	1	1	0	1	0	1.0	0	0
人間福祉	児童	30	1	1	1	0	1	1	1.0	1	1
	こども心理	20	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	人間福祉	20	2	2	2	0	2	0	1.0	2	0
合計		160	14	13	13	6	7	3	1.0	11	3

一般入試特別結果 (試験日 2017年3月25日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	5	3	3	1	2	1	1.0	1	0
人文	欧米文化	20	1	1	1	1	0	1	1.0	1	1
	日本文化	20	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0
人間福祉	児童	30	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	こども心理	20	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0
	人間福祉	20	2	1	1	1	0	0	1.0	1	0
合計		160	10	7	7	3	4	2	1.0	5	1

※一般入試の募集定員はA～E日程全体で、政治経済学科は50名、児童学科は30名、その他の学科は各20名でした。

学科が求める学生像に従い、意欲と可能性を引き出す

# AO (アドミッションズ・オフィス) 入試

Point. 1 AO入試を通じて、受験生の学ぼうとする意欲と可能性を引き出します。

Point. 2 課題に真剣に取り組み、その中から問題を発見し、その解決に努力する前向きな姿勢を評価します。

Point. 3 「講義型」「レポート型」「英語特別」の三つの方式から選べます。

## 選考のポイント

本学ではAO入試を1999年に全国に先駆けて早い段階で導入しました。今年度で18年が経過するわけですが、その間に毎年、審査方法を何度も見直し、高校にもAO入試の考え方や本学が求める学生像を伝える努力してきましたので、「聖学院大学のAO入試」として理解されるようになってきました。一人ひとりを大切にするという本学の建学の精神がよく表れた入試です。エントリーしてきた受験生にしっかりと向き合うことを行っていますので、みなさんも真剣に取り組んでください。

「講義型」が、「講義を受ける」→「ノートの清書」→「面接」の3つで構成された入試で1日で完結します。講義を受けるといっても学力をみるわけではありません。「何をどう感じたか」「どこに興味を持ったか」など自分なりの見解が重要です。授業では疑問や感じたこともメモをしておくことで面接で役立ちます。

「講義型」でのエントリーを考えている方にはオープンキャンパスに参加して大学の講義がどのように行われるのかを体験しておくことをお勧めします。高校生の受験生がとまどうことがないように、講義もできるだけノートを取りやすいように工夫してあります。

「レポート型」は、志望する学科のレポートを書いて、その内容を評価する入試です。

作文とは違い、課題を理解しているか、その課題に対する自分なりの意見・見解(結論)、その結論に対する説得力が必要になります。オープンキャンパスで本学スタッフが丁寧に相談にのりますのでレポートを初めて書く人でも大丈夫です。

両形式とも高校との連携も大事にして審査がすすめられていきますので、困ったこと、わからないことがあったら担任の先生にも相談してみてください。詳しくは『AO入試ガイドブック』をご参照ください。

## 2017年度AO入試概要

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

<b>■政治経済学部</b> ・政治経済学科 50名	<b>■人文学部</b> ・欧米文化学科 30名 ・日本文化学科 30名	<b>■人間福祉学部</b> ・児童学科 *40名 ・こども心理学科 30名	・人間福祉学科 30名	*児童学科はAO入試[レポート型・英語特別]方式での募集はありません。
-------------------------------	--	--	-------------	-------------------------------------

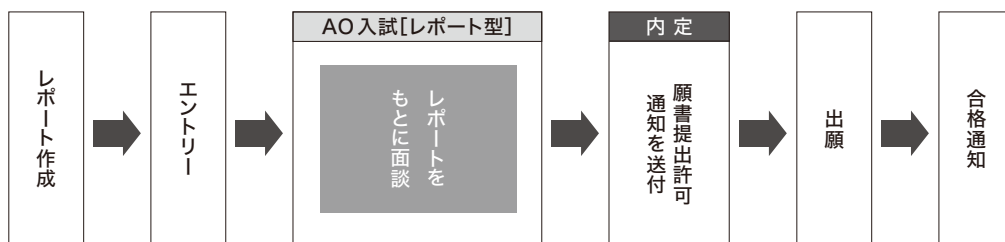
### エントリーカード(レポート型/講義型)・出願(英語特別)受付期間(参考)

入試区分	審査日	郵送受付	窓口受付	インターネット受付
レポート型	—	2016年 6月 1日(月)～	—	—
講義型 英語特別	I期: 8月27日(土)	2016年 6月 1日(月)～ 8月24日(水) [必着]	2016年 8月24日(水)9:00～12:00	2016年 8月24日(水)12:00まで
	II期: 10月1日(土)	2016年 8月29日(月)～ 9月28日(水) [必着]	2016年 9月28日(水)9:00～12:00	2016年 9月28日(水)12:00まで
	III期: 11月12日(土)	2016年10月 1日(土)～11月 9日(水) [必着]	2016年11月 9日(水)9:00～12:00	2016年11月 9日(水)12:00まで
	IV期: 12月17日(土)	2016年11月21日(月)～12月14日(水) [必着]	2016年12月14日(水)9:00～12:00	2016年12月14日(水)12:00まで
	V期: 2017年1月21日(土)	2016年12月14日(水)～2017年1月18日(水) [必着]	2017年 1月18日(水)9:00～12:00	2017年 1月18日(水)12:00まで
	VI期: 2017年2月28日(火)	2017年 1月 1日(日)～2017年2月22日(水) [必着]	2017年 2月22日(水)9:00～12:00	2017年 2月22日(水)12:00まで



## レポート型

### AO入試[レポート型]の流れ



**審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

**面談[審査]日** 面談実施日時は、エントリー者に後日連絡します。  
レポートの完成まで、面談(2回目以降)は複数回行うことがあります。

**提出書類** エントリー時=エントリーカード、レポート 内定者書類提出(出願時)=入学願書(検定料含む)・調査書

### AO入試[レポート型] 2017年度入試結果

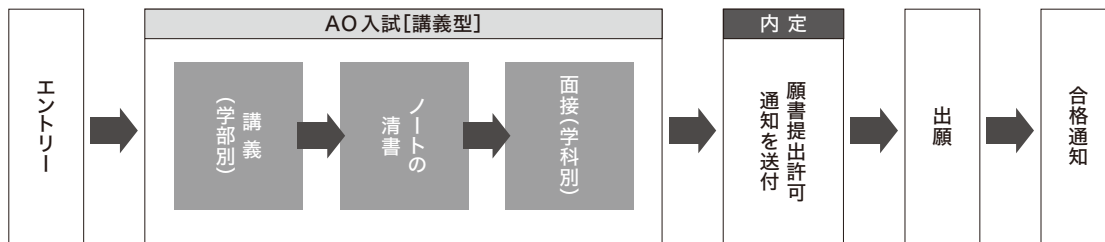
学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率 エントリー/合格	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	50	9	-	9	6	6	0	0	1.5	6	0
人文	欧米文化	30	7	-	7	7	7	0	2	1.0	6	2
	日本文化	30	7	-	7	6	5	1	2	1.2	6	2
人間福祉	児童	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	30	7	-	7	6	5	1	3	1.2	6	3
	人間福祉	30	16	-	16	14	14	0	3	1.1	14	3
合計		210	46	-	46	39	37	2	10	1.2	38	10

※募集定員はAOレポート型・講義型・英語特別合計

※児童学科は(レポート型)の募集はなし。

## 講義型

### AO入試[講義型]の流れ



**審査方法** 「講義を受ける」「ノートの清書」「面接」で構成。  
【入試の流れ】

- ①ガイダンス(全体説明)＝入試の流れ、受験上の注意などの説明。
- ②講義を受ける＝講義を受けながら大学で用意した下書きノートにメモをとる。講義50分、質疑応答10分。
- ③ノートの清書＝講義中に取った下書きノートのメモを元に、ノートを清書して提出。ノートの清書時間60分。
- ④面接＝下書きノートを持ち面接を受けます。講義について、志望理由、将来の進路についてなどを質問します。

**提出書類** エントリー時＝エントリーカード・エントリー票・副票  
内定者書類提出(出願時)＝入学願書(検定料含む)・調査書

### AO入試[講義型] 2017年度入試結果 (審査日 ①2016年8月27日 ②10月1日 ③11月12日 ④12月17日 ⑤2017年1月21日 ⑥2月28日)

学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		エントリー/合格	総数
政治経済	政治経済	50	27	-	24	23	23	0	2	1.2	22	2
人文	欧米文化	30	2	-	2	2	2	0	2	1.0	2	2
	日本文化	30	18	-	18	16	16	0	8	1.1	16	8
人間福祉	児童	40	39	-	39	33	33	0	18	1.2	33	18
	こども心理	30	12	-	12	12	12	0	5	1.0	12	5
	人間福祉	30	15	-	14	13	12	1	3	1.2	13	3
<b>合計</b>		210	113	-	109	99	98	1	38	1.1	98	38

※募集定員はAOレポート型・講義型・英語特別合計

## 英語特別

英検準2級以上の資格が必須の入試です。英語の語学力をいかして何がしたいのか、何を学びたいのかを見る入試です。

**受験資格** 英検準2級以上に合格していること  
**審査方法** 面接  
**提出書類** エントリー時＝エントリーカード・エントリー票・副票、  
英検準2級以上の合格証明書(コピー可)  
内定書類提出(出願時)＝入学願書(検定料含む)、調査書

### AO入試[英語特別] 2017年度入試結果 (審査日 ①2016年8月27日 ②10月1日 ③11月12日 ④12月17日 ⑤2017年1月21日 ⑥3月14日)

学部	学科	募集定員	入試結果				合格者内訳			倍率	入学者	
			エントリー	志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		エントリー/合格	総数
政治経済	政治経済	50	1	-	1	1	1	0	1	1.0	1	1
人文	欧米文化	30	2	-	2	2	2	0	1	1.0	2	1
	日本文化	30	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0	0
人間福祉	児童	40	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	30	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	人間福祉	30	2	-	2	1	1	0	0	2.0	1	0
<b>合計</b>		210	5	-	5	4	4	0	2	1.3	4	2

※児童学科は(レポート型)の募集はなし。

## AO入試で求める学生像

<p><b>政治経済学科</b></p>	<p>実社会に出る前に、ちょっと考えてみよう。社会人になるために、視野を広げ、自分の意見を持ちたいと思いませんか。家族、地域社会、職場などでの話題や、日本と世界の抱える課題を、基礎から深く学んでみたいと思う人、そして、自分が育ってきた社会を、次は担っていかなくてはならないと感じる人に向いています。机の上の学びだけではなく、体験的、そして実践的な学びをしたい人や、言われたとおりに行動するのではなく自分で考えて行動したい人を求めています。</p>
<p><b>欧米文化学科</b></p>	<p>ヨーロッパやアメリカの文化に触れることで、自分の視野や考え方、生き方、行動力を広げたい人を求めています。社会で必要となる理解力・考察力・文章表現力・コミュニケーション力などを伸ばして、国内外で活躍したい人を大いに歓迎します。 たとえば、世界史が好きな人、神話や伝説に興味がある人、外国の映画・音楽・文学・美術・デザイン・街並み・慣習やキリスト教に関心のある人、英語が好きな人や英語をきちんと学びなおしたい人、海外留学したい人、英語以外の外国語も学びたい人、外国と日本の文化の架け橋になりたい人、将来海外に関わる仕事がしたい人、海外旅行が好きな人、子どもに英語を教えたい人、英語教員になりたい人を求めています。</p>
<p><b>日本文化学科</b></p>	<p>趣味も含めて「自分は〇〇に熱中してきた」と自信を持って語ることでできる人。日本文化について調べることが楽しいと感じる人。海外などでの異文化経験を通して、日本について学び直したいと考えている人。表現することが好きで、詩や小説の創作、演劇活動などをしてきた人。部活動や自主的な活動などで、何かに一生懸命打ち込んできた人——。そんな人たちも求めています。また、本が好きで、将来は図書館司書になりたいと考えている人。人と接することが好きで、将来、国語科教員や日本語教諭になることを志している人——。そんな人たちも大いに歓迎します。</p>
<p><b>児童学科</b></p>	<p>子どもをよく観察し、細やかに、また大らかに共感して子どもの心を理解する &lt;育ての専門家&gt; になりたいと思っている人。しなやかな感性をもってものや人と関わりあうことをふだんの生活のなかで大切にしている人。自分の考えを互いに伝えあって対話を大切にしている人。つまり、児童学科で学ぶことを通じて、自分自身の生き方を確認し、よりよい人間関係を考え、子どもも大人も共に幸せに暮らす社会を築いていきたいという希望を持っている人を求めています。 ※児童学科は、AO入試[レポート型・英語特別]での募集を行いません。</p>
<p><b>こども心理学科</b></p>	<p>こどもの「こころ」と「心の問題」に関心を持ち、心理学の学びを通じてそれらの解決の糸口を見出したいと希望する人。多様な人々と関わることが楽しいと感じ、そして、今よりさらに良い人間関係を築くことに意欲がもてる人。こころの専門家としてケア・サポートなどの行動ができる人になりたいと願う人。</p>
<p><b>人間福祉学科</b></p>	<p>「人の役に立ちたい!」「誰もが助け合えるやさしい社会をつくりたい!」と考えている人を求めます。(ボランティア・部活動経験の有無は問いません)また、人をサポートすること、人と協力して活動すること(部活動や生徒会など)に取り組んできた人も求めます。</p>

高校までの成績、活動と志望理由、将来の目標に基づく

# 推薦入試

Point. 1 公募推薦の小論文では自己の意見を的確に表現する力を審査します。

Point. 2 志望理由書による面接では、大学進学のための目的や将来の目標を確認します。

Point. 3 「クリスチャン推薦」「キリスト教関係者推薦」を行っています。

## 選考のポイント

本学の推薦入試は「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦・キリスト教関係者推薦」と「公募推薦」「スポーツ推薦」を行います。「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦」では小論文審査は行わず、書類審査と面接を行います。面接において志望の動機や入学後の目標などを確認することに力を入れます。本学面接担当教員は、志望理由書を事前にチェックし面接時に必ず志望理由や将来目標を質問しますので、志望理由書には将来目標がわかりやすく記載されていることが大切となります。また、高等学校における活動の記録として、クラブ活動や委員会活動などがありましたら記入してください。推薦入試は高校でどのように充実した学校生活を送ったかが選考の重要なポイントになります。

オープンキャンパスに参加して、聖学院大学の教育の内容を理解するとともに、志望する学科の教員と個別に話ができる「個別相談」を活用するとアドバースを受けることができます。積極的に参加されることをお勧めします。

「公募推薦」の小論文につきましては、提示された文章を読んで、それについて論文を書く形式や、テーマが与えられて、それについて自分の意見を述べる形式になります。書かれた内容を中心に審査しますが、小論文としての様式を整えておくことも必要になります。日ごろから文章に親しみ、文章を書く練習をしておくことをお勧めします。広く社会に関心を持っているかを問われますので新聞やテレビニュースなどで視野を広げておくことも大切なポイントです。

スポーツ推薦入試は、本学の入学を強く希望し、高校生活で鍛えられた心身両面で優れた能力を持った人を教員などの証明により自己表現できる人材として優先的に入学を許可するものです。また、本入試は学校長の推薦が必要な公募推薦や指定校推薦とは異なり、クラブの顧問や監督、担任等が記入したスポーツ推薦書(指定用紙)を提出します。3期(9, 12, 1月)に分けて審査を行います。

論文作成にあたっては、時間配分を考慮に入れた練習をしていると試験当日は安心できると思われます。論文内容については、受験生の意見がしっかりと述べられているかを評価の基準とします(「過去問題集」「小論文のポイント」を参考にしてください)。

本学ではオープンキャンパスとは別にサマースクール(6・8・9月)を実施します。一日、大学生になって講義を体験するもので、小論文の書き方講座など実習を交えて開かれます。小論文に自信のない、あるいは志望理由書の書き方がわからない受験生はご活用ください。

面接では、志望理由書を元に志望の動機や将来の目標について確認しますが、緊張して質問と違う答えが返ってくる場合があります。出願時に提出する志望理由書は、自分自身で考えた内容をしっかりと書くことが大切です。また、本学ではアドミッション・ポリシー(P.6~9)を提示していますので、それをよく読み、理解していることが重要です。

## 2017年度推薦入試概要

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

<b>■政治経済学部</b> ・政治経済学科 55名	<b>■人文学部</b> ・欧米文化学科 25名 ・日本文化学科 25名	<b>■人間福祉学部</b> ・児童学科 30名 ・子ども心理学科 25名	・人間福祉学科 25名
-------------------------------	--	---	-------------

### 入試日程等(参考)

入試区分	公募推薦Ⅰ期	クリスチャン推薦	キリスト教関係者推薦	公募推薦Ⅱ期
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、児童学科、子ども心理学科、人間福祉学科			
受験資格	2017年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者			
推薦基準	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上	①所属する教会の牧師と役員会が推薦するクリスチャンであること。 ②キリスト教学校の場合は聖書科教師あるいはチャプレンの推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④大学の学習に耐え得る十分な基礎学力があること。	①キリスト教に関心があること。 ②教会に連なっているクリスチャンの関係者の推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上であること。	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上
審査日	2016年11月12日(土)		2016年12月17日(土)	
審査方法	①書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ②小論文(60分・800字) ③面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接	①書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ②小論文(60分・800字) ③面接

※「指定校推薦」については、指定校に別途ご案内しています。詳細は、アドミッションセンターへお問い合わせください。

## 推薦入試2017年度結果 (公募推薦・審査日 ①2016年11月12日 ②12月17日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	23	23	23	2	1.0	22	2
人文	欧米文化	25	9	9	9	5	1.0	9	5
	日本文化	25	28	28	28	9	1.0	28	9
人間福祉	児童	30	16	15	15	12	1.0	15	12
	こども心理	25	15	15	15	11	1.0	15	11
	人間福祉	25	17	17	17	5	1.0	17	5
合計		185	108	107	107	44	1.0	106	44

## 2017年度スポーツ推薦入試概要

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

#### ■政治経済学部

・政治経済学科 5名

#### ■人文学部

・欧米文化学科 5名  
・日本文化学科 5名

#### ■人間福祉学部

・児童学科 募集なし  
・こども心理学科 5名  
・人間福祉学科 5名

### 入試日程等(参考)

入試区分	スポーツ推薦
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科
受験資格	2017年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者
推薦基準	①スポーツ推薦書のある者(推薦書記入者:顧問、監督、担任、その他) ②証明条件 A・Bいずれかの該当で出願可 A ●個人競技では高校時に都道府県大会において8位以上の者。 ●団体競技では高校時に都道府県大会においてベスト16以上の者。 B ●高校3年間部活動を継続し礼儀正しく、人間性が評価できる者。スポーツ関連クラブも含む。
審査日	I期 2016年9月17日(土) II期 12月17日(土) III期 2017年1月14日(土)
審査方法	①書類審査(スポーツ推薦書(指定用紙)・志望理由書=600字程度・他※) ②小論文(60分・600字) ③面接

※【任意提出書類】活動実績が高校外部の場合には、クラブチーム等の課外活動実績報告書(A4書式自由)

※併願可能。詳しくはお問い合わせください。

## スポーツ推薦入試 2017年度入試結果 (審査日 ①2016年9月17日 ②12月17日 ③2017年1月14日)

学部	学科	募集定員	入試結果			合格者内訳			倍率 受験者/合格	入学者	
			志願者	受験者	合格者	現役	既卒者	女子		総数	女子
政治経済	政治経済	5	2	2	2	2	0	1	1.0	2	1
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人間福祉	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
	人間福祉	5	1	1	1	1	0	1	1.0	1	1
合計		25	3	3	3	3	0	2	1.0	3	2

※児童学科は(スポーツ推薦)の募集はなし。

## 以下の大会で、聖学院大学陸上競技部は好成績を収めました。

### 第96回関東インカレ

(2017年5月25・26日・27日・28日、横浜日産スタジアム)

伴 拓郎(政治経済学科3年) 男子2部三段跳び 優勝  
小林 駿祐(政治経済学科2年) 男子2部円盤投げ 8位入賞  
※男子2部総合 27位

### 第72回埼玉県陸上競技選手権大会

兼第90回関東陸上競技選手権大会予選会

(2017年6月23日・24日・25日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)

伴野 早紀(政治経済学科4年) 女子800m 優勝  
小林 日菜子(人間福祉学科2年) 女子砲丸投げ 優勝  
伴 拓郎(政治経済学科3年) 男子2部三段跳び 2位  
網島 凌(政治経済学科4年) 男子100m 3位  
網島 凌(政治経済学科4年) 男子200m 4位入賞  
村上 拓也(政治経済学科2年) 男子やり投げ 4位入賞  
中村 勇太(政治経済学科4年) 男子円盤投げ 6位入賞  
岡戸 朝海(政治経済学科1年) 女子やり投げ 6位入賞



# 聖学院大学入試について

**聖学院大学の入試は「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢をもち、意欲的に大学生活に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して作られています。**

聖学院大学は「ふるい落とすための入試」から、「受験生の可能性を見出す入試」への大きな改革を行ってきました。そのために「どのような学生に入学してほしいか」を提示した『聖学院大学アドミッション・ポリシー』を提示しています。

本学では「面倒見のよい大学。入って伸びる大学。」を本学の教育姿勢をわかりやすく示すことばとして使っています。

本学では学生が目的をもって、意欲的に学問に取り組むには何よりも教員と学生の豊かなコミュニケーションが大切であると考え、徹底した少人数教育に取り組んでいます。多くの教職員が学生の顔と名前を一致させて覚えているということがマンモス大学にはないフレンドリーなキャンパスの雰囲気を作り出しています。これが本学の「面倒見のよさ」の基本です。さらに入学前準備学習やニュー・スチューデント・オリエンテーション、クラスアドバイザー制や現代社会の諸問題を取り上げ学んでいくアセンブリーアワー、使える英語を目指す英語教育、大学生としての表現力を身につける「話し方・書き方表現」、ITのスキルを徹底して学ぶコンピュータ教育など、独自のカリキュラムが実績をあげてきました。また「アドミッションセンター」、「キャリアサポートセンター」、「ラーニングセンター」、「ボランティア活動支援センター」、「学

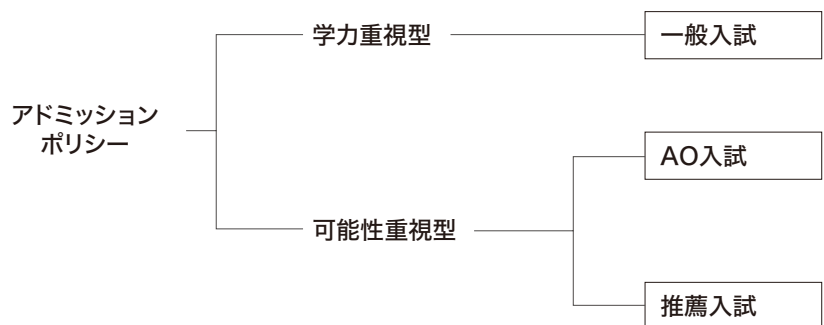
生相談室」など学生がいつでも相談できる仕組みを作っているのも「面倒見のよい大学」、そして「入って伸びる大学」という評価の裏付けとなっています。

入試制度においても能力の「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢に向かって意欲的に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して4つの入試が作られています。「アドミッション・ポリシー」をはっきりと掲げているのもその姿勢のあらわれです。また各入試で毎日の出願状況の公開、平均点、正答率の公開など受験生に役立つ入試情報の公開をホームページ等を通じて積極的に行っています。インターネット上にシラバスと

受験生向けに発行しているこの『データブック』を公開し、何が学べるかがわかるようにしています。さらに「学科目標」(卒業時点を想定して学生が到達すべき目標を示したものも提示しています。

今年度もいくつかの入試の改革を行いました。その一つひとつが、受験生から見てメリットになるようにという方針を貫いています。ぜひ本学のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、本学の教育の中であなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢と目標が実現できるように全力でバックアップします。

## 入試の4つの方式



# 聖学院大学はセンター試験を導入していません。

## 本学がセンター試験を導入しない理由

聖学院大学は独立行政法人大学入試センターが実施する「センター試験」を利用した入試を導入していません。全国の大学の約9割が何らかの形でセンター試験を利用している中で、志願者増につながり、その結果偏差値アップにつながるメリットがあるのになぜ参加しないのかと問われることが多くあります。本学は、ポリシーをもって「センター試験」利用入試を導入していません。それは以下の理由によります。

まず第一の理由として、聖学院大学はキリスト教大学ですので教職員が日曜礼拝を守るという立場から日曜日に入試を行うことを開学以来して

きませんでした。センター試験を導入することは、大学を試験会場として提供するだけでなく教職員が試験監督として働く仕組みとなっていますので、本学のアイデンティティであるキリスト教学校のよき伝統と相反することとなります。現在の「センター試験」の実施方法では本学として参加は難しいと判断しているわけです。

次にセンター試験の内容についてです。考える力よりも暗記にたよる問題が多く、受験のテクニックに流れがちです。本学ではできるだけ丁寧に受験生を見て、本学に合う学生を入学させたいと考えています。学力試験を課す本学の一般入試にお

いても、外部評価を入れるなど「入試問題の良問化」に努めています。最後に、大学の序列化の問題です。センター受験後の自己採点を予備校に委ね、これによって大学の入学難易度が決められている今のセンター試験の現状には疑問を感じざるを得ません。点数によるのではなく、むしろ点数化できない個性や人間性を基に本学の個性に合う学生に入学してもらいたい、そのためには、正しい評価基準を持った新しい入試制度を作ることこそ大切であると考えています。

大学で必要となる基礎学力を筆記試験により判断する

# 一般入試

Point. 1 適切な出題で基礎学力を審査します。

Point. 2 一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。

## 選考のポイント

聖学院大学では、難問や奇問をなくし、基礎的な学力があれば点数が取れる「良問化」に常に努めています。毎年、外部の専門機関による入試問題の評価を実施し、適正な範囲から出題されているか、難易度は受験生に合っているかなどの観点から厳しいチェックを受けています。その結果は学内にフィードバックし、次年度の問題作成に活かしています。

このデータブックで問題を公開し、学科ごとに実質倍率、平均点、各問ごとの正答率を公表しています。また、学内の入試問題作成委員会が「傾向と対策」を執筆しています(過去問題集に掲載)。

このように、本学では情報の公開を積極的に進めていますので、データブックや入試要項をしっかりとチェックしておくことが、高得点のカギとなります。

また、最新の情報は大学ホームページ(<http://www.seigakuin.jp>)でも公開しています。入試の変更点などの情報が出ることがありますので合わせてチェックしてみることをお勧めします。

出題範囲は文部科学省の課程に準拠します。範囲を超えた問題は出題しない方針です。各科目とも入試要項に指定された範囲を確認し、基礎をしっかりと押さえてください。

本学の2017年度一般入試はA日程、B日程、C日程、D日程、E日程、特別の6期にわけて行います。今年度は、下記に記した昨年度実績と比較し、日程や会場の変更、受験できる科目数に変更がありますので、別冊入試要項をご確認ください。特にABCD日程では、一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。ABCD日程では、2科目受験1科目判定入試、E日程、特別では小論文・面接での入試となっています。ABCD日程の2科目受験1科目判定入試では、2科目のうち、高得点の1科目で選考をします。

## 2017年度一般入試概要

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 募集定員

入試区分	政治経済学部	人文学部		人間福祉学部		
	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉
A日程	50	20	20	30	20	20
B日程						
C日程						
D日程						
E日程						
特別						

### 入試日程(参考)

入試区分	試験日
A日程	2017年1月24日(火)
B日程	2017年2月 9日(木)
C日程	2017年2月28日(火)
D日程	2017年3月14日(火)
E日程	2017年3月23日(木)
特別	2017年3月25日(土)

## 2017年度一般入試概要(続き)

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

### 試験科目(参考)

入試区分	試験科目	試験時間/配点	試験会場
一般入試 A日程	国語総合(近代以降の文章) 英語 ※2科目受験、1科目(高得点科目)判定です。	各60分 各100点	さいたま新都心、仙台、新潟、東京
一般入試 B日程	国語総合(近代以降の文章) 英語 ※2科目受験、1科目(高得点科目)判定です。	各60分 各100点	本学、高崎、東京、宇都宮
一般入試 C日程	国語総合(近代以降の文章) 英語 ※2科目受験、1科目(高得点科目)判定です。	各60分 各100点	本学、東京、新潟
一般入試 D日程	国語総合(近代以降の文章) 英語 ※2科目受験、1科目(高得点科目)判定です。	各60分 各100点	本学
一般入試 E日程	小論文 面接	小論文 60分	本学
一般入試 特別	小論文 面接	小論文 60分	本学

### 2学科出願について

一般入試A～D日程は、1回の試験で2学科出願できます。

地方試験会場でも2学科出願ができます。

入学検定料は1学科でも2学科併願でも

同額出願料金(30,000円)。

※詳細は必ず、別冊入試要項でご確認ください。

### 「シーズン・パス方式」と

### 「センター試験出願者の受験料の減額」について

複数回受験できる「シーズン・パス方式」を採用しています。

※入学検定料30,000円で年度内のすべての入試を何回でも受験することが出来ます。  
途中で受験学科を変更することも可能です。

大学入試センター出願者は本学の一般入試の入学検定料を20,000円に減額致します(こちら複数回受験パスとなります)。

※センター利用入試ではありません。

## 2016年度秋学期入試

### <小論文・面接型>

#### 一般・帰国生入試・編入学試験対象

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

試験日 2016年7月2日(土)

審査方法 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

#### 一般・社会人・帰国生・留学生入試・編入学試験対象

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科

エントリー受付 2016年4月1日(金)～8月3日(水)

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### 2016年度 秋学期入試結果(一般・AO)

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	1	1	1	1	1	1
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	2	2	1	1	0	0
	人間福祉	-	-	-	-	-	-
合計		3	3	2	2	1	1

※秋学期入試(社会人、帰国生、留学生、編入学)についてはP25～27参照。

# 2017年度一般入試結果

## 会場別志願者合格者数 ※志:志願者数 合:合格者数

### A日程

学部	学科	大学		東京		仙台		新潟	
		志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	47	41	15	13	1	1	0	0
人文	欧米文化	16	13	10	9	1	1	0	0
	日本文化	40	39	10	8	2	2	2	2
人間福祉	児童	21	20	7	7	1	1	2	2
	こども心理	21	20	3	3	0	0	1	1
	人間福祉	21	18	8	8	1	1	1	1
合計		166	151	53	48	6	6	6	6

### B日程

学部	学科	大学		東京		高崎		宇都宮	
		志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	5	3	4	1	1	1	0	0
人文	欧米文化	7	6	1	0	0	0	0	0
	日本文化	3	3	0	0	2	2	0	0
人間福祉	児童	4	3	0	0	0	0	0	0
	こども心理	0	0	1	0	0	0	0	0
	人間福祉	3	2	2	1	1	1	0	0
合計		22	17	8	2	4	4	0	0

### C日程

学部	学科	大学		東京		新潟	
		志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	9	8	4	1	1	1
人文	欧米文化	6	6	2	1	0	0
	日本文化	6	4	1	0	1	1
人間福祉	児童	4	4	3	2	0	0
	こども心理	2	2	0	0	0	0
	人間福祉	4	4	1	0	0	0
合計		31	28	11	4	2	2

※D日程については、会場が大学のみのため、掲載していません。

## 学科別併願状況

学部	受験学科1	受験学科2	A日程	B日程	C日程	D日程
政治経済	政治経済	なし(単願)	14	3	1	2
		欧米文化	6	3	2	7
		日本文化	8	1	5	4
		児童	3	0	3	1
		こども心理	1	0	0	0
		人間福祉	8	2	2	0
人文	欧米文化	なし(単願)	5	2	1	1
		政治経済	1	0	0	2
		日本文化	4	1	1	2
		児童	0	0	1	0
	こども心理	0	0	1	0	
	日本文化	なし(単願)	9	1	2	1
政治経済		12	0	0	5	
人間福祉	児童	なし(単願)	7	2	1	1
		政治経済	0	0	1	0
		欧米文化	1	1	1	0
		日本文化	4	1	0	0
		こども心理	11	0	0	1
	人間福祉	1	0	0	0	
こども心理	なし(単願)	2	0	0	0	
	人間福祉	3	0	1	0	
	人間福祉	なし(単願)	4	1	1	1
		政治経済	1	0	0	1
		欧米文化	0	1	1	0
日本文化		2	0	0	0	
児童	1	0	0	0		
こども心理	4	0	0	1		

# 都道府県別入試データ

2017年度の全国からの志願者数は664名、うち合格者が585名です。  
 主に関東圏からの志願者数が多く、全体の約70%をしめる465名が  
 埼玉(348名)・東京(117名)の1都1県からの志願者で占められています。

Total

585 / 664

合格者数 / 志願者数 (かっこ内は女子数)

※特別・編入学・秋学期は含まれておりません。

九州・沖縄

10 / 16

佐賀 2/6(0/0)  
 鹿児島 4/6(1/1)  
 沖縄 4/4(1/1)

中部

18 / 20

新潟 11/13(2/3)  
 石川 1/1(0/0)  
 山梨 1/1(0/0)  
 長野 5/5(4/4)

北海道

23 / 23

北海道 23/23(8/8)

東北

17 / 19

岩手 3/3(1/1)  
 宮城 4/4(0/0)  
 山形 3/4(2/2)  
 福島 7/8(1/1)

関東

504 / 571

茨城 25/37(6/8)  
 栃木 7/8(4/4)  
 群馬 29/31(10/12)  
 埼玉 324/348(118/125)  
 千葉 11/19(3/3)  
 東京 100/117(33/37)  
 神奈川 8/11(3/4)

近畿

4 / 4

三重 1/1(0/0)  
 大阪 2/2(0/0)  
 奈良 1/1(0/0)

その他

9 / 11

高等学校卒業程度認定試験 8/10(0/0)  
 外国の学校等 1/1(0/0)

## 現役 / 既卒別志願者数

学部	学科	総数	現役	既卒等
政治経済	政治経済	185	157	28
人文	欧米文化	78	64	14
	日本文化	135	121	14
人間福祉	児童	101	97	4
	こども心理	65	62	3
	人間福祉	100	90	10

※特別・編入学・秋学期は含まれておりません。



# 高校別入試データ

※高校コード順に掲載

都道府県	高校名	志願	合格	入学	
北海道	札幌光星	2	2	0	
	北星学園余市	1	1	1	
	クラーク記念国際	17	17	16	
	星槎国際	3	3	2	
岩手県	金ヶ崎	2	2	1	
	盛岡大学附属	1	1	1	
宮城県	仙台西	2	2	1	
	東北学院	2	2	0	
山形県	米沢興譲館	2	1	1	
	山形学院	1	1	1	
	基督教独立学園	1	1	1	
福島県	湯本	1	1	1	
	尚志	1	1	1	
	大智学園	6	5	5	
茨城県	土浦第三	2	2	1	
	下妻第二	2	2	0	
	結城第二	4	4	3	
	古河第一	2	0	0	
	境	2	2	0	
	那珂湊	1	1	1	
	水戸啓明	4	0	0	
	鹿島学園	15	11	4	
	第一学院(高萩校)	4	2	2	
	土浦日本大学	1	1	1	
	栃木県	栃木翔南	2	2	0
		佐野清澄	1	1	1
白鷗大学足利		1	0	0	
日々輝学園		4	4	4	
群馬県	前橋商業	1	1	1	
	高崎女子	1	1	0	
	伊勢崎清明	1	1	1	
	太田女子	2	2	0	
	富岡実業	1	1	1	
	西邑楽	4	4	2	
	太田東	1	0	0	
	共愛学園	2	2	2	
	桐生第一	7	6	1	
	新島学園	4	4	0	
	高崎健康福祉大学高崎	3	3	1	
	白根開善学校高等部	1	1	1	
	明和県央	2	2	2	
	学芸館	1	1	1	
埼玉県	筑波大学附属坂戸	1	1	1	
	熊谷	1	1	1	
	春日部	1	1	1	
	松山	3	3	1	
	川口(県立)	3	3	2	
	浦和第一女子	1	0	0	
	春日部女子	5	5	0	
	深谷第一	3	3	2	
	浦和西	3	3	1	
	本庄	6	6	1	
	久喜	1	1	1	
	草加	2	2	0	
	戸田翔陽	1	1	1	
	岩槻	7	6	4	
	川越工業	1	1	1	
	浦和工業	2	2	1	
	大宮工業	1	1	1	
	深谷商業	3	3	3	
	進修館	1	1	1	

都道府県	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	所沢商業	1	1	1
	杉戸農業	1	1	1
	川越総合	3	3	3
	与野	8	8	2
	鴻巣	2	2	2
	上尾	2	2	1
	豊岡	3	3	0
	和光	2	2	1
	桶川	5	4	2
	八潮	1	1	1
	志木	3	3	1
	越谷南	4	4	1
	川口北	2	2	0
	北本	1	0	0
	川越南	1	1	1
	三郷	2	2	2
	秩父農工科学	1	1	1
	いづみ	1	1	1
	羽生実業	1	1	1
	大宮中央	3	2	2
	草加南	2	2	1
	富士見	1	1	1
	滑川総合	3	3	3
	羽生第一	7	7	1
上尾南	4	3	3	
春日部東	2	2	0	
白岡	6	6	6	
川口総合	1	1	1	
浦和南	1	1	1	
浦和北	1	1	1	
飯能南	1	0	0	
川越西	4	4	2	
越谷西	4	4	1	
坂戸西	1	1	1	
所沢西	1	1	1	
妻沼	1	1	1	
南陵	1	1	1	
桶川西	3	3	3	
所沢中央	3	3	3	
草加東	1	1	1	
三郷北	1	1	1	
岩槻北陵	1	1	1	
大宮南	4	4	1	
狭山清陵	1	0	0	
越谷東	5	5	4	
浦和東	1	1	1	
上尾橋	3	3	3	
鳩山	1	1	1	
川口青陵	2	2	2	
伊奈学園総合	1	1	0	
大宮光陵	5	5	1	
久喜北陽	7	7	3	
上尾鷹の台	6	6	5	
誠和福祉	4	4	4	
新座柳瀬	1	1	1	
吹上秋桜	2	2	1	
蓮田松韻	3	3	3	
栗橋北彩	3	3	3	
ふじみ野	3	3	3	
吉川美南	1	1	0	
埼玉第一学園	1	1	1	

都道府県	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	越谷特別支援	1	1	1
	叡明	5	3	1
	浦和麗明	5	5	5
	細田学園	6	6	3
	本庄第一	3	3	1
	山村学園	7	7	2
	山村国際	2	2	2
	正智深谷	5	5	1
	大宮開成	5	4	0
	本庄東	7	3	0
	武蔵越生	7	7	3
	武南	6	6	1
	東京成徳大学深谷	2	2	0
	浦和実業学園	18	16	9
	星野	2	2	0
	浦和ルーテル学院	3	3	2
	城西大学付属川越	3	3	2
	埼玉栄	9	9	3
	浦和学院	3	3	2
	栄東	2	2	0
	秀明	1	1	1
	昌平	2	2	0
	獨協埼玉	1	0	0
	春日部共栄	2	2	0
秀明英光	10	8	8	
花咲徳栄	10	10	4	
秋草学園	1	1	1	
開智	2	0	0	
埼玉平成	2	2	2	
東京農業大学第三	2	2	1	
国際学院	9	8	6	
栄北	3	3	0	
志学会	2	1	1	
武蔵野星城	3	3	3	
千葉県	野田中央	3	3	2
	千葉大宮	1	1	1
	船橋夏見特別支援	6	1	1
	千葉英和	1	1	0
	桜林	1	1	1
	わせがく	2	2	2
	木更津総合	1	0	0
	あずさ第一	1	1	0
	中央国際	3	1	1
	東京都	赤羽商業	1	1
荒川商業		1	1	1
板橋		2	2	2
桜町		1	1	1
高島		2	2	0
竹台		1	1	1
日本橋		1	1	1
農業		1	1	1
光丘		1	1	1
富士		1	1	1
武蔵丘		1	1	0
蒲田		1	1	1
六郷工科		1	1	1
稔ヶ丘		1	1	1
大田桜台	2	2	2	
王子総合	2	2	1	
正則	2	2	0	
成城	4	4	1	

都道府県	高校名	志願	合格	入学
東京都	保善	1	1	0
	関東国際	1	1	1
	桜蔭	2	0	0
	東洋大学京北	2	2	1
	貞静学園	1	1	0
	東京電機大学	2	2	1
	獨協	2	0	0
	安部学院	2	2	2
	桜丘	7	5	0
	女子聖学院	6	5	1
	聖学院	25	23	3
	成立学園	1	1	0
	瀧野川女子学園	1	1	1
	武蔵野	5	5	0
	北豊島	2	2	2
	中村	2	2	0
	関東第一	1	1	1
	自由ヶ丘学園	3	3	1
	東京学園	4	2	2
	日出	1	1	1
	科学技術学園	4	3	3
	佼成学園女子	2	2	0
	十文字	1	0	0
	城西大学附属城西	2	0	0
	昭和鉄道	1	1	1
	淑徳	2	2	0
	富士見	1	1	0
	国立音楽大学附属	2	2	0
	日本放送協会学園	3	1	1
	多摩大学附属聖ヶ丘	2	2	1

都道府県	高校名	志願	合格	入学
神奈川県	川崎北	2	2	0
	戸塚	1	1	1
	氷取沢	1	1	0
	麻生総合	2	1	1
	横浜清風	1	1	0
	橘学園	1	1	1
	湘南工科大学附属	2	0	0
	清心女子	1	1	1
新潟県	新潟西	2	2	0
	巻	2	2	0
	長岡明德	1	0	0
	上越総合技術	1	0	0
	安塚	1	1	1
	敬和学園	4	4	4
	東京学館新潟	2	2	0
石川県	北陸学院	1	1	1
山梨県	日本航空	1	1	1
長野県	飯田風越	1	1	1
	長野俊英	2	2	1
	さくら国際	2	2	2
三重県	英心	1	1	1
大阪府	YMCA学院	2	2	1
奈良県	飛鳥未来	1	1	1
佐賀県	早稲田佐賀	6	2	0
鹿児島県	屋久島おおぞら	6	4	4
沖縄県	前原	1	1	1
	ヒューマンキャンパス	3	3	2
高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定		10	8	5
外国の学校等		1	1	1

インターネット出願について

聖学院大学では、AO入試[講義型][英語特別]、一般入試等でインターネットによるエントリー／出願を導入しています。メリットは①事前の願書入手が不要、②出願期間内であれば24時間出願可能であることです。

インターネット出願件数(2017年度入試)

	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	計
AO講義	5	1	6	5	2	2	21
AOレポート	2	4	3	0	2	2	13
AO英語特別	0	0	0	0	0	2	2
一般A	36	15	36	14	11	14	126
一般B	8	6	3	1	0	3	21
一般C	12	6	6	6	1	5	36
一般D	18	11	11	3	2	3	48
一般E	8	1	1	0	0	2	12
計	89	44	66	29	18	33	279

# 特別入試

## 社会人入試

### 秋学期入試(2016年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
エントリー受付 2016年4月1日(金)～8月3日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

2016年度 秋学期入試(社会人入試)結果  
エントリー者はありませんでした。

### 春学期入試(2017年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 全学科  
エントリー受付 2016年8月1日(月)～2017年2月22日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

2017年度 春学期入試(社会人入試)結果  
エントリー者はありませんでした。

## 帰国生入試

### 秋学期入試(2016年度)

#### <小論文・面接型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
審査日 2016年7月2日(土)  
審査方法 小論文、面接

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
エントリー受付 2016年4月1日(金)～8月3日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

2016年度 秋学期入試(帰国生入試)結果  
志願者・エントリー者はありませんでした。

### 春学期入試(2017年度)

#### <小論文・面接型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科  
審査日 2017年1月14日(土)  
審査方法 小論文、面接

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 全学科  
エントリー受付 2016年8月1日(月)～2017年2月22日(水)  
審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2017年度 春学期入試(帰国生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	1	0	1	0	1	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		1	0	1	0	1	0

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

## 留学生入試

### 秋学期入試(2016年度)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
 エントリー受付 2016年4月1日(金)～8月3日(水)  
 審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2016年度 秋学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	5	3	5	3	4	3
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		5	3	5	3	4	3

児童学科、人間福祉学科は実施せず。

### 春学期入試(2017年度)

#### <1日型>

募集学科 政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
 試験日 第1回 2016年10月15日(土)、第2回 11月26日(土)、第3回 2017年1月14日(土)、第4回 2月9日(木)、第5回 3月9日(木)  
 審査方法 日本語能力試験(作文および漢字)60分  
 面接(日本語試験合格者のみ)

#### <AO方式[レポート]型>

募集学科 全学科  
 エントリー受付 2016年6月1日(水)～2017年3月3日(金)  
 審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

#### 2017年度 春学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	198	71	128	53	116	49
人文	欧米文化	25	18	21	16	18	14
	日本文化	25	9	18	5	15	5
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-
	こども心理	8	6	4	3	4	3
	人間福祉	13	7	10	5	9	4
合計		269	111	181	82	162	75

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。

# 編入学試験

## 秋学期入試(2016年度)

### <小論文・面接型>

**募集学科** 政治経済学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科  
**審査日** 2016年7月2日(土)  
**審査方法** 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

**募集学科** 政治経済学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
**エントリー受付** 2016年4月1日(金)～8月3日(水)  
**審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### 2016年度 秋学期入試(編入学試験)結果

志願者・エントリー者はありませんでした。

## 春学期入試(2017年度)

### <小論文・面接型>

**募集学科** 政治経済学科、欧米文化学科、  
日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科  
**審査日** 2017年1月14日(土)  
**審査方法** 小論文、面接

### <AO方式[レポート]型>

**募集学科** 全学科  
**エントリー受付** 2016年8月1日(月)～2017年2月22日(水)  
児童学科のみ 9月1日(木)～1月6日(金)  
**審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

### 2017年度 春学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	2	1	1	0	1	0
人文	欧米文化	2	1	2	1	2	1
	日本文化	2	2	1	1	0	0
人間福祉	児童	1	1	1	1	1	1
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	2	1	2	1	2	1
合計		9	6	7	4	6	3

募集定員は各学科若干名。

※2018年度の入試は別冊入試要項でご確認ください。



# 入学前準備学習報告(2016年度)

聖学院大学では、AO入試や推薦入試等で早期に入学手続きを終えた入学予定者(希望者)を対象として、11月より「入学前準備学習」を行いました。これまでの入学前教育プログラム(有料・希望者受講、2-3月スクーリング制)を刷新し、全入学予定者が、より豊かなキャンパスライフを送れるよう、「全学プログラム」「学科プログラム」「eラーニングプログラム」の3つを柱とした学習を開講しました(参加費無料)。

「全学プログラム」では、豊かな人間関係を養うコミュニケーションスキルの向上、多様な学び場、居場所の構築と発見を目的に、在学生の先輩(SA)を交えたワークショップ形式のプログラムを展開しました。また、学科の専門的な学びから学習意欲の向上を図るための「学科プログラム」、基礎学力の定着を促すための「eラーニングプログラム」(ハコブネ1st STAGE)を用意し、高校から大学への円滑な移行のためのサポートを実施しました。

## 1. 全学プログラム

責任者 渡邊 正人      講師 奥 富美子      事務担当 ラーニングセンター事務課      SA登録学生 在学生35名

### 開催概要

開催日	第1回 11月26日	第2回 12月17日	第3回 1月28日	第4回 3月30日
参加/案内数	77/212	105/287	109/348	427/495
参加率(%)	36.3	36.6	31.3	86.3
目的	豊かな人間性と関係性を養う。コミュニケーションスキルの向上			
内容	コミュニケーションスキルの向上			キャリア教育
詳細	「大学生」として過ごすキャンパスを知るため、少人数グループで学内散策をした。先輩学生に学内のポイントとなる場所を案内されながら、今後の姿をイメージした。	少人数で構成されたグループでワークを行った。聖学院生になってからの学生生活をマスタにしたすころく作りのワークを通して、グループメンバーやSA(学生スタッフ)と多くのコミュニケーションをとった。	少人数で構成されたグループでワークを行った。グループメンバー一人ひとりが接続詞を用いて短文を作り、それをつなぎ合わせて一つの物語を作った。短文をつなげていくことで、相手に内容がわかりやすく伝わることを学んだ。	4年後の姿をイメージし、その姿に向かって目標を立てた。目標を達成するために大学での過ごし方(指針)を考えることで、大学4年間を有意義に過ごせるよう考えた。

## 2. 学科プログラム

ねらい	学科の専門性や魅力を伝え、入学生同士や先輩学生たちとの交流を促す
実施回数	各学科 1-3回(11-1月)
実施形態	講義型や参加・双方向型プログラム

## 3. eラーニングプログラム

目的	学び直しによる確かな基礎学力の定着
内容	国語、算数/数学、英語を中心に理科、社会の5教科の学び直し

### 登録者人数とログイン率

学科名	登録数(辞退者除く)	ログイン人数	ログイン率(%)
政治経済	204	93	45.6
欧米文化	51	35	68.6
日本文化	80	54	67.5
児童	56	40	71.4
こども心理	42	33	78.6
人間福祉	62	48	77.4
合計	495	303	61.2

総利用時間 1,320時間(実力診断テストおよびドリルの利用時間の合算)

### 英語集中講座 楽しく英語 English Time

高等学校で学んだ基礎英語からステップアップするプログラム。入学後に始まるネイティブスピーカーによる聖学院英語教育プログラム[ECA Speaking]のよい準備となる講座です。講座では、実際の日常生活の英語を実践。ゲームや自己紹介、また英語でアーティストや歌について学ぶことで、友達やクラスメイトと英語でコミュニケーションし、英語に慣れ親しむことを目的としています。

**2016年度実施概要** 2017年2月20日(月)~24日(金) 5日間 / 受講料 10,000円 / 参加者数 26名(2016年度 28名、2015年度 29名)